音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点 複合施設整備

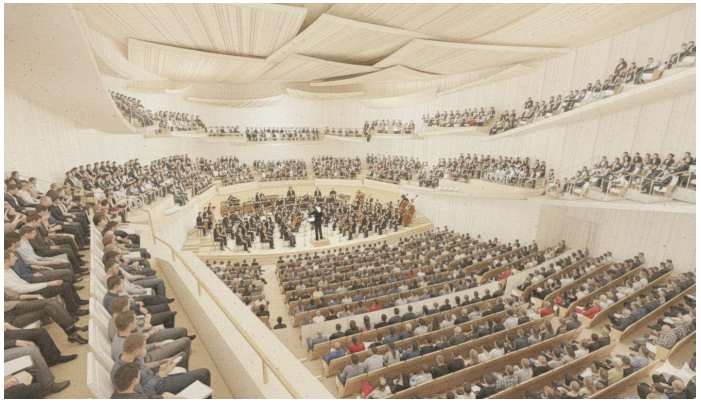
新たな「ひと」の流れづくり

- **令和13年度（2031年度）中の開館に向けて、生の音の響きを重視した2,000席規模の大ホールを備え、仙台の文化芸術の総合拠点となる音楽ホールと、防災環境都市・仙台ならではの災害文化の創造拠点となる中心部震災メモリアル拠点の複合施設の整備を進めています。**
- **本市のアイデンティティを象徴する青葉山エリアに新たなランドマークが誕生することにより、仙台の魅力や存在感を高め、交流人口の拡大など、地域経済にも大きく貢献する施設を目指します。**



大阪・関西万博の会場デザインプロデューサーを務めた世界的建築家の藤本壮介氏が設計しています。

※画像は施設外観イメージ



大ホールでのコンサートイメージ

仙台フィルハーモニー管弦楽団をレジデントオーケストラに位置づけ、仙台国際音楽コンクールの新たな会場となるなど、「楽都仙台」をさらに発展させる拠点となります。



災害文化　ワークショップイメージ

多様な主体の参画・交流により、災害を知り・日常的に備え・発生した災害を乗り越えていく「災害文化」を創造し、社会に定着させていく拠点となります。



乳幼児を含むこどもたちへ文化芸術体験を届けることを事業の大きな柱とします。

企業の皆様へのメッセージ

本施設は、文化芸術と災害文化が融合することにより、未来をより豊かに生きるための文化を創造し、発信する拠点となるものです。杜の都の新たなシンボルとなる施設の整備に向け、ご支援をお願いいたします。

担当： 文化観光局 青葉山エリア複合施設整備室　TEL022-214-6139